

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：「これからの研究インテグリティ・研究セキュリティー先端材料研究開発分野を起点に考える産官学それぞれのあり方」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・主催：日本学術会議 材料工学委員会・総合工学委員会合同将来展開分科会
- ・後援：全国大学材料関係教室協議会、応用物理学会、軽金属学会、資源・素材学会、情報通信学会、日本化学会、日本材料学会、日本塑性加工学会、日本金属学会、日本 casting 工学会、日本鉄鋼協会、日本科学会、溶接学会、日本バイオマテリアル学会、高分子学会

3 開催日時：令和8年4月4日（金） 13時30分～17時00分

4 開催場所：日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）

5 開催趣旨：

研究活動の国際化・オープン化が進む中、研究データの扱いや利益相反・責務相反など、研究者が直面するリスクは増大している。この状況を受け、政府では「研究インテグリティの確保に係る対応方針」（令和4年）や、令和7年度中に策定予定の「研究セキュリティーと研究インテグリティの確保のための手順書」など、研究ガバナンス強化に向けた政策整備が急速に進んでいる。また日本学術会議では、「研究活動のオープン化、国際化が進む中での科学者コミュニティの課題と対応」（令和5年）を公表し、共通課題の整理を行ってきた。

一方で、材料科学・材料工学はエネルギー、半導体、輸送、医療など多様な基幹産業の基盤として社会的・経済的に重要度が高く、研究インテグリティや研究セキュリティーに対する要求も特に高い。国際競争が激化する中で、研究現場には分野特有の実務的課題が多く残されている。

こうした状況を踏まえ、先端材料研究開発分野における研究インテグリティの実施状況や研究者意識、現場の課題について、材料工学委員会・総合工学委員会合同将来展開分科会において集中的に議論・調査を行い、その成果を「報告」として取りまとめている。今回の学術フォーラムは、この「報告」と連動し、材料分野に特有の論点を含め多角的な議論の場として開催された。

6 参加人数：

講演者及びパネリスト等：11名

その他の参加者：27名（現地）、136名（オンライン）

7 特記事項：

・本フォーラムの動画は、You Tube (<https://www.youtube.com/live/8GZenGrSNNw>)にて広く市民に公開された。同時に、後援団体への開催報告において、本 URL の周知を依頼した。

・本フォーラムの報告書は上記「報告」の付録として添付し、報告書作成時の産業界およびアカデミアの現状として記録に残すこととした。